

2023年9月期 第1四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2023年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社

コード番号 3769

URL <https://www.gmo-pg.com/corp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成

問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	14,813	24.9	5,090	23.7	4,687	9.0	2,523	△2.3	2,447	△2.8	756	△71.5
2022年9月期第1四半期	11,857	21.4	4,116	31.8	4,299	41.5	2,582	47.6	2,517	47.6	2,652	76.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	32.27	31.97
2022年9月期第1四半期	33.19	32.90

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	297,562	77,836	75,614	25.4
2022年9月期	273,407	89,260	87,122	31.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	0.00	0.00	0.00	160.00	160.00
2023年9月期	0.00				
2023年9月期(予想)		0.00	0.00	82.00	82.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,491	18.4	10,330	24.8	9,648	11.0	6,072	8.1	5,952	7.9	78.49
通期	59,100	17.5	20,311	25.0	18,837	△45.8	12,635	△48.1	12,368	△48.8	163.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	76,557,545株	2022年9月期	76,557,545株
------------	-------------	----------	-------------

- ② 期末自己株式数

2023年9月期1Q	715,071株	2022年9月期	714,996株
------------	----------	----------	----------

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期1Q	75,842,509株	2022年9月期1Q	75,842,549株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託 (J-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2022年9月期 709,705株、2023年9月期1Q 709,705株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、2023年2月14日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
① 現金及び現金同等物	15
② 営業債権及びその他の債権	15
③ 関係会社預け金	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

① 連結経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	増減率 (%)
売上収益	11,857,766	14,813,246	24.9
営業利益	4,116,377	5,090,188	23.7
税引前四半期利益	4,299,022	4,687,236	9.0
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	2,517,248	2,447,255	△2.8

a. 売上収益

売上収益は14,813,246千円（前年同期比24.9%増）となりました。オンライン課金分野、継続課金分野、対面分野と「GM0後払い」合計の決済処理件数は前年同期比29.8%増、決済処理金額は前年同期比34.2%増となり、決済代行事業の売上収益は11,215,710千円（前年同期比26.5%増）、金融関連事業の売上収益は3,356,203千円（前年同期比21.0%増）、決済活性化事業の売上収益は246,279千円（前年同期比9.1%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。

(単位：千円)

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	1,484,676	2,260,404	52.2
ストック (固定費売上)	1,851,185	2,237,931	20.9
フィー (処理料売上)	3,149,958	4,257,285	35.2
スプレッド (加盟店売上)	5,371,946	6,057,624	12.8
合計	11,857,766	14,813,246	24.9

b. 営業利益

営業利益は5,090,188千円（前年同期比23.7%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。

決済代行事業のセグメント利益（営業利益）は5,282,917千円（前年同期比24.0%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は615,450千円（前年同期比2.5%減）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は41,202千円（前年同期比19.7%減）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は4,687,236千円（前年同期比9.0%増）となり、当第1四半期連結累計期間の営業利益が前年同期比23.7%増だったのに対し、税引前四半期利益は前年同期比9.0%増となりました。これは主に受取利息208,195千円により金融収益が233,831千円計上された一方、為替差損457,899千円により金融費用が614,509千円計上されたことによるものです。

② セグメントの業績状況

セグメントの業績は、以下のとおりです。

（単位：千円）

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	増減率 (%)
決済代行事業 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	8,866,543 4,260,112	11,215,710 5,282,917	26.5 24.0
金融関連事業 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	2,772,849 630,956	3,356,203 615,450	21.0 △2.5
決済活性化事業 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	225,809 51,297	246,279 41,202	9.1 △19.7
調整額 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	△7,436 △825,988	△4,947 △849,382	— —
合計 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	11,857,766 4,116,377	14,813,246 5,090,188	24.9 23.7

a. 決済代行事業

決済代行事業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援の拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力しております。

当第1四半期連結累計期間のオンライン課金分野・継続課金分野は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大時の巣籠消費におけるインターネット利用の定着に伴い、引き続き日用品、デジタルコンテンツや公金・公共料金等のオンライン決済は増加し、またDX需要の高まりから新しい業態のオンライン決済も伸長しました。さらに、感染拡大の落ち着きに伴い外出機会が増加したことから、旅行やチケットの決済が伸長し、巣籠需要の反動を受けていた物販領域においては、一部加盟店に回復の傾向が見られました。一方で、小規模事業者においては依然マイナスの影響が残っております。

当第1四半期連結累計期間における対面分野は、キャッシュレス決済のニーズの高まりから市場の拡大が進んだことに伴い「stera」をはじめとする端末販売が前連結会計年度に引き続き伸長したことに加え、年末商戦期に伴う消費拡大や訪日外国人数の増加によるインバウンド需要の寄与により好調に推移いたしました。また、注力市場である自動精算機や券売機等の無人決済市場（Unattended Market）での案件の受注も順調に推移しております。

さらに、決済のキャッシュレス化やDX（デジタルトランスフォーメーション）ニーズの拡大を捉えた金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援では、プロセッシングプラットフォームサービスの拡大により、成長が加速し収益貢献いたしました。

以上の結果、売上収益は11,215,710千円（前年同期比26.5%増）、セグメント利益（営業利益）は5,282,917千円（前年同期比24.0%増）となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業（マネーサービスビジネス：MSB）については、加盟店のキャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービス、送金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGM0」のほか、連結子会社であるGM0ペイメントサービス株式会社を通じて「GM0後払い」を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、送金サービスの取扱件数が増加し、「即給 byGM0」も取扱高が順調に推移しております。また、決済サービスである「GM0後払い」は大手加盟店の獲得に加え手数料改定の影響もあり売上収益は伸長いたしました。

以上の結果、売上収益は3,356,203千円（前年同期比21.0%増）となりましたが、「GM0後払い」の与信関連コストの増加と当セグメントの売上構成の変化によりセグメント利益（営業利益）は615,450千円（前年同期比2.5%減）となりました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、当社グループ加盟店の売上向上に繋がるマーケティング支援サービスや、連結子会社であるGM0医療予約技術研究所株式会社を通じて医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGM0」等を提供しております。

当第1四半期連結累計期間において、GM0医療予約技術研究所株式会社が提供する予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるサービスや、複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスへの需要の高まり等から売上収益は好調に推移いたしました。一方、顧客需要が季節的に減少するマーケティング支援サービスは減収となっております。

以上の結果、売上収益は246,279千円（前年同期比9.1%増）となりましたが、マーケティング支援サービスの減収によりセグメント利益（営業利益）は41,202千円（前年同期比19.7%減）となりました。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行事業	決済代行サービス （オンライン課金・継続課金）	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	決済代行サービス （対面）	GM0フィナンシャルゲート株式会社（連結子会社）
金融関連事業	GM0後払い	GM0ペイメントサービス株式会社（連結子会社）
	送金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	トランザクションレンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	海外レンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	早期入金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGM0	GM0医療予約技術研究所株式会社（連結子会社）

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の概況

a. 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ24,155,556千円増加し、297,562,735千円となりました。これは主に関係会社預け金11,200,000千円減少した一方、現金及び現金同等物16,223,370千円、営業債権及びその他の債権1,149,481千円、前渡金7,484,148千円、未収入金7,855,346千円、棚卸資産994,774千円、その他の金融資産956,986千円増加したことによるものです。

「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 ① 現金及び現金同等物」に記載したとおり、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物には関係会社預け金が7,730,000千円含まれており、要約四半期連結財政状態計算書上の関係会社預け金5,300,000千円と合わせると、関係会社預け金の残高は13,030,000千円となっております。これはGM0インターネットグループがグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステム（以下、「CMS」という。）を利用し、手元資金を預け入れたものです。そのため、当社グループにおいて事業の進捗に伴って資金需要が増大した際には、CMSの返済期日が到来していなくても、所定の日数より前に申請することで、随時資金を引き出すことが可能です。

b. 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ35,579,488千円増加し、219,726,016千円となりました。これは主に未払法人所得税等3,112,650千円減少した一方、未払金6,823,331千円、預り金26,984,439千円、借入金4,950,000千円増加したことによるものです。

c. 資本

当第1四半期連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ11,423,932千円減少し、77,836,718千円となりました。これは主に四半期利益2,523,554千円の計上により増加した一方、その他の包括利益1,766,897千円、剰余金の配当12,134,807千円により減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、期首残高に比べ16,223,370千円増加し、130,191,301千円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は16,173,097千円（前年同期は15,996,239千円の獲得）となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の増加1,656,906千円、前渡金の増加7,484,148千円、未収入金の増加7,854,733千円、その他の流動負債の減少910,423千円、法人所得税の支払額5,209,997千円により資金が減少した一方、税引前四半期利益4,687,236千円、買掛金の増加1,832,667千円、未払金の増加6,919,088千円、預り金の増加26,930,315千円により資金が増加したものです。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は8,288,582千円（前年同期は16,840,900千円の使用）となりました。これは主に拘束性預金の預入による支出1,161,030千円、無形資産の取得による支出1,141,777千円、関係会社預け金の預入による支出5,300,000千円により資金が減少した一方、関係会社預け金の払戻による収入16,500,000千円により資金が増加したものです。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は7,378,510千円（前年同期は1,338,739千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増加額3,000,000千円、長期借入れによる収入1,950,000千円により資金が増加した一方、配当金の支払額12,083,568千円により資金が減少したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する電子商取引（EC）市場は、スマートフォンの利便性の高まりや物流の改革等外部環境の変化による物販の消費者向け（BtoC）ECの利用拡大を受け高成長を継続しております。また、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金等の公金、医療等の生活に密着した分野等における決済のオンライン化が着実に進行しており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴い新たな生活様式に関わるオンライン消費も定着いたしました。加えて、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化等、ECの領域自体も拡大しております。

連結子会社であるGM0フィナンシャルゲート株式会社が立脚する対面市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた決済のキャッシュレス化加速の機運も高まっており、新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2023年9月期の事業環境については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う行動制限が解除された一方で、世界的に金融引締めが進む中での金融資本市場の変動に加え、原材料価格の高騰等に伴う物価上昇や急激な為替変動の影響により、民間消費全般の見通しは依然として不透明感が残っており、当社グループの売上収益に対し影響を及ぼす可能性があります。

2023年9月期の通期連結業績予想については、売上収益59,100百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益20,311百万円（前年同期比25.0%増）、税引前利益18,837百万円（前年同期比45.8%減）、当期利益12,635百万円（前年同期比48.1%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益12,368百万円（前年同期比48.8%減）を見込んでおります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	①	113,967,930	130,191,301
営業債権及びその他の債権	②	13,964,116	15,203,532
前渡金		54,422,846	61,906,994
未収入金		30,331,694	38,187,041
棚卸資産		1,532,298	2,527,072
関係会社預け金	③	16,500,000	5,300,000
その他の金融資産		12,917,180	13,401,491
その他の流動資産		620,923	954,156
流動資産合計		244,256,990	267,671,589
非流動資産			
有形固定資産		3,542,380	3,518,214
のれん及び無形資産		6,942,428	7,824,822
持分法で会計処理されている投資		8,608,123	8,171,064
営業債権及びその他の債権	②	3,501,426	3,411,492
その他の金融資産		5,095,976	5,568,651
繰延税金資産		1,342,570	1,344,899
その他の非流動資産		117,283	51,999
非流動資産合計		29,150,189	29,891,145
資産合計		273,407,179	297,562,735

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金		5,595,583	7,451,454
未払金		23,280,877	30,104,209
預り金		91,410,677	118,395,117
借入金		17,000,000	20,090,000
その他の金融負債		1,014,590	501,165
未払法人所得税等		4,916,655	1,804,004
引当金		320,229	319,229
その他の流動負債		4,281,866	3,456,853
流動負債合計		147,820,480	182,122,034
非流動負債			
社債		19,678,403	19,699,689
借入金		6,000,000	7,860,000
その他の金融負債		2,342,950	2,254,385
引当金		130,576	130,601
繰延税金負債		5,642,475	5,622,543
その他の非流動負債		2,531,640	2,036,761
非流動負債合計		36,326,046	37,603,981
負債合計		184,146,527	219,726,016
資本			
資本金		13,323,135	13,323,135
資本剰余金		15,272,474	15,217,668
利益剰余金		49,424,496	39,732,575
自己株式		△1,152,444	△1,153,329
その他の資本の構成要素		10,255,198	8,494,820
親会社の所有者に帰属する持分合計		87,122,860	75,614,870
非支配持分		2,137,790	2,221,848
資本合計		89,260,651	77,836,718
負債及び資本合計		273,407,179	297,562,735

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上収益		11,857,766	14,813,246
(うち、金利収益※)		2,296,880	2,809,287
売上原価		△3,684,580	△5,022,243
売上総利益		8,173,185	9,791,002
その他の収益		60,102	65,341
販売費及び一般管理費		△4,108,462	△4,743,391
その他の費用		△8,448	△22,765
営業利益		4,116,377	5,090,188
金融収益		215,922	233,831
金融費用		△55,762	△614,509
持分法による投資損益 (△は損失)		22,484	△22,274
税引前四半期利益		4,299,022	4,687,236
法人所得税費用		△1,716,521	△2,163,681
四半期利益		2,582,500	2,523,554
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		2,517,248	2,447,255
非支配持分		65,252	76,298
四半期利益		2,582,500	2,523,554
1株当たり四半期利益 (円)			
基本的1株当たり四半期利益		33.19	32.27
希薄化後1株当たり四半期利益		32.90	31.97

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	2,582,500	2,523,554
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△142,642	89,515
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	44,872	△159,690
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△97,769	△70,175
純損益に振り替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	194,052	△1,696,721
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△25,839	—
純損益に振り替えられることのある 項目合計	168,213	△1,696,721
税引後その他の包括利益	70,443	△1,766,897
四半期包括利益	2,652,944	756,657
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,588,192	686,878
非支配持分	64,752	69,778
合計	2,652,944	756,657

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高		13,323,135	15,191,927	26,546,151	△1,152,444	1,937,175	55,845,946	1,974,433	57,820,379
四半期利益		—	—	2,517,248	—	—	2,517,248	65,252	2,582,500
その他の包括利益		—	—	—	—	70,943	70,943	△499	70,443
四半期包括利益		—	—	2,517,248	—	70,943	2,588,192	64,752	2,652,944
自己株式の取得		—	—	—	△718	—	△718	—	△718
配当金		—	—	△4,474,710	—	—	△4,474,710	—	△4,474,710
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△89,232	△89,232
株式報酬取引		—	22,293	—	—	△17	22,276	—	22,276
支配継続子会社に対する 持分変動		—	△10,001	—	—	—	△10,001	—	△10,001
所有者との取引額合計		—	12,292	△4,474,710	△718	△17	△4,463,153	△89,232	△4,552,386
2021年12月31日時点の残高		13,323,135	15,204,220	24,588,690	△1,153,163	2,008,101	53,970,984	1,949,952	55,920,937

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高		13,323,135	15,272,474	49,424,496	△1,152,444	10,255,198	87,122,860	2,137,790	89,260,651
四半期利益		—	—	2,447,255	—	—	2,447,255	76,298	2,523,554
その他の包括利益		—	—	—	—	△1,760,377	△1,760,377	△6,520	△1,766,897
四半期包括利益		—	—	2,447,255	—	△1,760,377	686,878	69,778	756,657
自己株式の取得		—	—	—	△884	—	△884	—	△884
配当金		—	—	△12,134,807	—	—	△12,134,807	—	△12,134,807
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△102,856	△102,856
株式報酬取引		—	11,554	—	—	—	11,554	—	11,554
支配継続子会社に対する 持分変動		—	△66,361	—	—	—	△66,361	117,135	50,774
その他の増減		—	—	△4,369	—	—	△4,369	—	△4,369
所有者との取引額合計		—	△54,806	△12,139,177	△884	—	△12,194,869	14,279	△12,180,590
2022年12月31日時点の残高		13,323,135	15,217,668	39,732,575	△1,153,329	8,494,820	75,614,870	2,221,848	77,836,718

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,299,022	4,687,236
減価償却費及び償却費	494,477	571,235
金融収益及び金融費用(△は益)	△160,160	380,677
持分法による投資損益(△は益)	△22,484	22,274
棚卸資産の増減額(△は増加)	△518,736	△994,774
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△491,156	△1,656,906
前渡金の増減(△は増加)	△5,305,449	△7,484,148
未収入金の増減(△は増加)	△7,848,449	△7,854,733
買掛金の増減(△は減少)	650,632	1,832,667
未払金の増減(△は減少)	7,050,179	6,919,088
預り金の増減(△は減少)	21,713,802	26,930,315
その他の流動負債の増減(△は減少)	△1,020,045	△910,423
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	3,379	△479,299
その他	△34,555	△695,273
小計	18,810,455	21,267,936
利息及び配当金の受取額	19,662	150,634
利息の支払額	△21,333	△35,477
法人所得税の支払額	△2,812,545	△5,209,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,996,239	16,173,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の預入による支出	—	△1,161,030
有形固定資産の取得による支出	△111,471	△170,246
無形資産の取得による支出	△629,233	△1,141,777
投資有価証券の取得による支出	△168,096	△537,148
投資有価証券の売却による収入	668,520	—
投資事業組合からの分配による収入	20,775	42,596
関係会社預け金の預入による支出	△16,500,000	△5,300,000
関係会社預け金の払戻による収入	—	16,500,000
その他の金融資産の取得による支出	△201	—
その他の金融資産の売却による収入	6,770	—
その他	△127,963	56,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,840,900	8,288,582

(単位：千円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		3,500,000	3,000,000
長期借入れによる収入		—	1,950,000
長期借入金の返済による支出		△133,155	—
配当金の支払額		△4,449,301	△12,083,568
非支配株主への配当金の支払額		△89,232	△102,856
その他		△167,050	△142,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,338,739	△7,378,510
現金及び現金同等物に係る換算差額		118,772	△859,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△2,064,628	16,223,370
現金及び現金同等物の期首残高	①	104,523,965	113,967,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	①	102,459,336	130,191,301

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

① 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
現金及び預金	109,337,930	122,461,301
関係会社預け金	4,630,000	7,730,000
合計	113,967,930	130,191,301

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
売掛金	6,454,035	8,015,007
営業貸付金	10,677,593	10,301,205
その他	457,134	426,956
貸倒引当金	△123,220	△128,145
合計	17,465,542	18,615,024
流動資産	13,964,116	15,203,532
非流動資産	3,501,426	3,411,492
合計	17,465,542	18,615,024

③ 関係会社預け金

関係会社預け金はGM0インターネットグループのCMSによる預け金です。